

令和6年度 学校図書館活用計画・評価シート

白地部分：計画策定時記入（年度当初）

水色部分：評価時記入（年度末）

足立区立 伊興中学校 校長 森田卓司

1 学校教育目標

- 進んで学ぶ生徒
- 心豊かな生徒
- たくましい生徒

2 現状の学校図書館の課題

図書館が狭くて1クラスの生徒が着席読書、調べる学習等に現状利用できないため隣の図書準備室の冷暖房完備を整えつつ図書館と相互に学習できる部屋として改善に努める。

3 今年度の学校図書館の重点目標

図書館以外の準備室・支援教室他の蔵書点検(約17000冊)を徹底しておこなう。

4 今年度の重点的な取組

特別支援学級の読書活用・国語の授業利用。

図書委員会でのイベントや企画の支援。

図書担当教員と支援員が協力を図り生徒の読書活動の推進に取り組む。

5 教科等における年間指導計画（対象学年は○数字で記載）

教科	内容（学校図書館の図書や資料を活用して取り組む単元等）
国語	① ② 調べる学習コンクールでの図書資料の活用
国語	② 新出語句の辞書を用いた意味調べ
国語	② 枕草子新聞作成のための図書資料の活用
国語	① ポップ作成のための図書資料の活用

実践の評価

1年生、2年生でおこなった調べる学習コンクールでは、図書資料を活用し充実した成果物を作成することができた。

2年生でおこなった辞書を用いての意味調べや、枕草子の調べ学習では、生徒が積極的に書籍を活用し知識を増やすことができていた。

1年生でのポップ作成では、自身の紹介したい本を工夫を凝らして紹介する作品ができた。

6 図書館運営計画	
(1) 日常的な取り組み	
毎朝 15 分間読書の時間を設け、学校図書館の蔵書を活用している。	
(2) 主な行事等の取り組み	
夏休み・冬休み等を使い POP カードを作成し校内作品展にて掲示している。	
(3) 図書委員会などの取り組み	
学校図書館の蔵書から学級文庫を選び、クラスに設置。 読書ウィークでの読書の呼びかけ。	
(4) 環境整備の取り組み	
図書館と図書準備室の改善に関するご教示を SLS に頂く。	
(5) 司書・外部との連携	
1 年次に支援員からの学校図書館利用のオリエンテーションの実施。 SLS による図書館活用の提案授業の実施。	
実践の評価	
朝読書の時間では、生徒が図書館の書籍を利用し、興味分野の知識を深められた。 夏休みのポップカード作成や図書委員の取り組みにより、図書館の蔵書の種類を知ることができた。 また図書準備室を整備することで、学習スペースや閲覧スペースを増やすことができた。 SLS と連携することでより深い授業を生徒に対しておこなえた。	

7	学校図書館利活用に関する成果目標	達成基準	達成状況
①	休み時間等に学校図書館や学級貸出の書籍を活用し、読書を行うことができる。	生徒一人あたりの年間貸出数 10 冊	概ね達成できた
②	複数の書籍から情報を収集し、比較・検討する中で、取捨選択し、まとめることができる。	校外学習のまとめ（新聞やレポート）提出率 90% 以上	提出率 90% には若干満たなかったため、次年度の課題としたい。
③	書籍の配架方法（日本十進分類法）を理解し、図書館を活用することができる。	探究活動の授業を 5 回実施	概ね達成できた。

8 学校図書館全体に関する自己評価
図書館の隣の図書準備室の大幅なレイアウト変更等で学習他で使いやすくなった。 蔵書点検に尽力して学校全体の本の洗い出しができた。